

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社イチネンホールディングス（証券コード:9619）**【据置】**

長期発行体格付	A－
格付の見通し	安定的
債券格付	A－
国内CP格付	J－1

■格付事由

- イチネングループの純粋持株会社。自動車リース関連事業を中核とし、ケミカル事業、パーキング事業、機械工具販売事業、合成樹脂事業、アグリソリューション事業（旧農業関連事業）などを展開しており、事業領域は多岐にわたる。主力の自動車リース関連事業で安定した事業基盤と高い収益性を維持しつつ、その他の各事業では収益源の分散を伴った収益力の強化が進んでいる。積極的に投資を進める中でも、財務健全性は維持されている。これらのことからグループ信用力を「A－」相当としている。グループの一体性は強く、長期発行体格付はグループ信用力と同等としている。
- 収益力は格付相応の水準である。26/3 期の連結営業利益は 109 億円と 23 期連続増益で最高益を更新した。連結営業利益の過半を占める自動車リース関連事業は、足元で物価高などの影響を受けているが、ROA（セグメント営業利益÷セグメント資産）はオートリース会社の中で高い水準を確保している。その他の事業は、各事業ごとで業績の波はあるものの、分散された収益源を背景に総じて安定した利益水準を確保している。近年、アグリソリューション事業の業容を拡大しており、新たにグループ入りした企業の業績寄与に加えグループシナジーの発揮などにより、新たな収益基盤として確立できるかに注目していく。
- 営業資産の質は良好である。不良債権は少額にとどまっており、与信費用は抑制された水準で推移している。中小企業との取引が多いため景気悪化の影響を受けやすい面はあるが、取引先の小口分散が図られているほか、与信管理の強化を図っている。オートリースに関しては、与信先の信用力が悪化した際にも中古市場が充実した車両の売却により保全を図りやすい。これらを背景に、当面も与信費用は抑制された水準で推移すると JCR はみている。
- 資本充実度は格付相応の水準である。着実な利益蓄積により自己資本は厚みを増しており、26/3 期末の連結自己資本比率は 33.8%と前期末比で 2.3 ポイント上昇した。26 年に実施したアグリソリューション事業の M&A を含め、今後も積極的な投資により連結総資産は増加傾向が続くと想定される。もともと、慎重な財務運営方針に変化はなく、現状の財務健全性は維持されると JCR は予想する。

（担当）加藤 厚・孕石 望

■格付対象

発行体：株式会社イチネンホールディングス

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A－	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 7 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	50 億円	2021 年 9 月 14 日	2026 年 9 月 14 日	0.530%	A－
第 8 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100 億円	2023 年 12 月 6 日	2026 年 12 月 4 日	1.300%	A－
第 9 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100 億円	2024 年 9 月 12 日	2029 年 9 月 12 日	1.500%	A－

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第10回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	80億円	2025年12月10日	2030年12月10日	2.287%	A-

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	100億円	J-1

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2026年8月6日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：加藤 厚
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「リース」（2025年2月7日）、「持株会社の格付方法」（2025年4月2日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 株式会社イチネンホールディングス
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル